

## 夏の交通事故防止運動

### 家庭でも安全教育を

(七月一日から八月三十日)

もうすぐ夏休みです、この時期は毎年交通事故が多く発生しています。そこで県では、来る七月一日から八月三十日まで「夏の交通事故防止運動」を実施します。

この運動は、県民のすべてに正しい交通ルールの実践を習慣づけるとともに、交通環境の整備促進を図り、交通事故をなくすことを目的としています。

特に次のことを重点として運動を開しますので、みなさま方の御協力をお願いします。

一、歩行者の事故防止  
歩行者の中でも、ことどもと老人の事故は依然として多く発生しています。正しい歩き方や横断のしかたなどについて、家庭ではお母さんが中心となって交通安全教育を行なうようにしてください。

二、安全運転の励行  
夏の行楽シーズンは車が渋滞し無理な追越しをしたり、過労運転、飲酒運転等による事故が多発する時期です。あせりや気のゆるみが事故を起こします。安全運転に心がけるよう注意してください。

三、自動二輪車の事故防止  
県では、本年三月から地域食品認証制度



### 「地域食品認証制度」

認証制度をスタートさせました。

これは、地域食品について品質の改善や表示の適正化を促進していくため、県が特定の地域食品（現在、豆腐、油揚げ、納豆、こんにゃくの四品目）について、製造や保管の施設、品質管理、品質及び表示などの基準（認証基準）を定め、この基準に適合すると認められた場合、当該事業者の認証を行つてもらうものです。

高校生による自動二輪車の事故が目だっています。自分の体や技術にあった自動二輪車を選び、正しい服装で、ヘルメットは必ず着用し、安全運転に努めてください。

### 年金の免除申請は

#### 忘れず七月中に

本年四月分から来年三月分までの国民年金保険料を経済的な理由で、どうしても納めることができないために、保険料の免除を受けた方は七月中に役場住民課国民年金係まで印鑑を持参し、手続きをして下さい。

また、保険料免除の要件は①所得がない。②被保険者やその世帯の人が生活保護法の医療扶助やらい予防法の援助を受けているとき③保険料を納めることが大変困難であるときなどです。

### 所得税の納期は

七月三十一日です

## 年金相談コーナー

### 死亡一時金のこと

問 国民年金の死亡一時金は、

いくらで、どんなときに受けられますか。

答 死亡一時金は、残された遺族の生活を保障する目的から、

積み立てた保険料を葬祭費として還付する趣旨のものです。三

年以上保険料をかけている被保険者が死亡したときに、その遺族（配偶者、子、父母、孫、兄弟姉妹）に支給されます。

その額は、保険料納付済期間

◎振替納税を利用していない方は

さきに税務署からお送りしまし

た納付書で期限に遅れないよう、

もよりの銀行・郵便局または税務署で納税をすましてください。

▽近くに危険な場所があるときは

サクやフタをとりつける。

▽危険な場所で遊んでいることも

見かけたときは、進んで声をかけてやめさせる。

▽万一、友だちに事故があつた場合は、近くの人に急を知らせる

よう。ふだんから教えておく。

▽海水浴場等では、

準備体操をじゅうぶん行ってか

ら海に入る。

▽お酒を飲んだ直後、海にはいられない。

▽水泳禁止区域には絶対に入らない。

▽子どもを守るために、

次のことをして、水の事故のないように楽しい水のシーズンを送りま

しょう。

▽子どもを守るために、

遅くとも、この秋には認証マークの付いた食品（認証食品）が出来ることになります。

現在、制度の普及に努めており

早くとも、この秋には認証マークの付いた食品（認証食品）が出来ることになります。

## 水難事故の防止

### 防

▽子どもが水遊びや魚とり、海水浴に行くときは、必ずおとながいっしょに行く。

▽近づく危険な場所があるときはサクやフタをとりつける。

▽危険な場所で遊んでいることも見かけたときは、進んで声をかけてやめさせる。

▽万一、友だちに事故があつた場合は、近くの人に急を知らせる

よう。ふだんから教えておく。

▽海水浴場等では、

準備体操をじゅうぶん行ってから海に入る。

▽お酒を飲んだ直後、海にはいられない。

▽水泳禁止区域には絶対に入らない。

▽子どもを守るために、

次のことをして、水の事故のないように楽しい水のシーズンを送りま

しょう。

▽子どもを守るために、

遅くとも、この秋には認証マークの付いた食品（認証食品）が出来ることになります。

現在、制度の普及に努めており

早くとも、この秋には認証マークの付いた食品（認証食品）が出来ることになります。

現在、制度の普及に努めており

早くとも、この秋には認証マークの付いた食品（認証食品）が出来ることになります。

現在、制度の普及に努めており

早くとも、この秋には認証マークの付いた食品（認証食品）が出来ることになります。

現在、制度の普及に努めており

早くとも、この秋には認証マークの付いた食品（認証食品）が出来ることになります。

現在、制度の普及に努めており

早くとも、この秋には認証マークの付いた食品（認証食品）が出来ることになります。

現在、制度の普及に努めており

早くとも、この秋には認証マークの付いた食品（認証食品）が出来ることになります。